

最賃、今すぐ1000円、早急に1500円！

労働局前「座り込み」、文京で「最賃デモ」

■写真左、7月31日、東京労働局前で、座り込み行動。■写真右、7月15日行われた文京の「最賃デモ」。後樂園、水道橋周辺でアピール。



1500円要求掲げ座り込み

CU東京は7月31日、東京の最賃1500円を要求し、東京地評の呼びかけに応え、東京労働局前（九段下）の座り込み宣伝行動に参加しました。2017年の最賃は中央審議会が7月25日に、全国平均25円の引き上げの目安を示しました。これでは「時給1000円」にもほど遠いものです。

地域間格差222円に、さらに拡大！

東京の958円を最高に、一番低い沖縄・宮崎は736円で、地域間格差は216円から222円とさらに拡大します。全労連の各地の調査では最低生活費は22万から24万円が必要と報告されています。この日の行動は昼休みの宣伝・アピールにつづき座り込み、「ただちに1000円」を求め、生活するには少なくとも1500円は必要と訴えました。

《文京では7.15最賃デモ》

CU文京支部などいくつかの組合が提起し、文京でも最賃1500円を要求する「最賃デモ」をしようと、2年ほど議論。今年の春闘共闘がスタートした昨年12月の最初の会議で実行委員会を結成。春闘学習会の後藤道夫教授の講演に後押しされ、7月15日に最

賃デモとなりました。全国的に「デーセントワークデー」、各地で最賃1500円を要求する運動が取り組まれました。15日は、飯田橋のハローワークが窓口を開けている第3土曜日、残念ながらハローワークを出入りする人は少なかったのですが、コースの水道橋駅周辺、後樂園遊園地は若者があふれ、沿道から声もかかり、久々に気持ちの良いデモ行進になりました。今後も、粘り強く行動を積み重ねる決意です。（CU文京 山田三平記）

CU東京HPをリニューアル

CU東京は「駆け込み寺」の役割を大事にしています。ホームページ（HP）を見ての相談が少なくありません。スマホの画面でもすっきり見え、わかり易くしました。一度アクセスして下さい。



CU三多摩・当面250人めざす

CU三多摩第3回定期大会



35人参加

CU東京・三多摩協議会第3回定期大会は、7月16日

(日) 国分寺労政会館を会場に、来賓6人含む35人出席で開催しました。

冒頭、顧問の八王子合同法律事務所・白根弁護士より「CU三多摩の労働相談事例の成果、教訓」と題し学習。大会には来賓としてCU東京本部・高木書記長、土建本部・渡辺常任中執、三多摩労連・菅原議長、前進座女優、そして日本共産党の尾崎あや子都議から挨拶をいただきました。

年間労働相談33件に対応

議案提案では年間労働相談33件への対応、駅宣行動の取り組み、組織拡大では年間45人拡大し、165人から210人へ前進した成果が報告されました。次年度方針ではとりわけ安倍改憲阻止のたたかいを中心に位置づけながら、労働相談体制を12人に拡充したこと、三多摩300人組織をめざし、当面250人組合づくりの決意が表明されました。

いまこそCUが出番

討論では、「障害者就労をめぐる相談でCUと一緒に学習会できないか」、「新婦人の中にも関心ある人いるので宣伝・声かけが必要」、「自治体で非正規職員が増加中、いまこそCUが出番では」等の発言があり、大いに盛り上がりました。

終了後に懇親会を行い、参加した26人全員が発言し、一層の団結前進を確認しました。次の新役員を選出しました。

委員長・佐藤義見、副委員長・朝倉法明、尼崎学、大江拓実、小野塚洋行、福田かづこ(新)、星憲彦さんら6人。書記長・三宅一也、書記次長・石川隆・北村博昭(新)・宮本 一、執行委員は9人、会計監査2人、相談役に坂内三夫。

(三多摩協議会 三宅一也記)

最高の峰161人到達を確信

CU渋谷第6回定期大会



7月17日、渋谷支部第6回定期大会が笹塚区民会

館で開催、来賓を含む20人が参加。最高の峰161人組合への到達を確信に、次期大会までに200人をめざすことや、10月開催の「渋谷集会」成功など誓い合いました。来賓のCU東京平山副委員長、代々木総合法律事務所の久保木弁護士、共産党の秋元区議、民商の齋藤副会長、新婦人渋谷支部の荒井支部長、東京都労働相談情報センターの永関氏から激励と期待を込めた連帯の挨拶を受け、最後に渋谷区労連の田辺副議長が、「渋谷集会」の成功をともにめざす決意を述べました。

16人での練り歩きで最賃宣伝

報告では、この1年間、「はたらくみんなの渋谷集会」の実行委員会のとりくみ、年間で42人の組織拡大や笹塚での16人での練り歩きなどの最低賃金の宣伝行動、執行部が講師になり「地域ユニオンテキスト」をつかった基礎を学ぶ学習はじめさまざまな学習会の開催、レクリエーションでは「高尾山へGO!」や「ボウリング&忘年会」その他、旺盛に取り組んできた活動を報告。

当面する「渋谷集会」の成功を

討論は、河合塾ユニオンの解雇撤回闘争と無期雇用転換へのたたかい、パワハラ相談での団体交渉など報告され、組合はたいへん力強いと発言がありました。大会後の懇親会では、みんなが発言、当面する「渋谷集会」の成功へ決意を固めました。次の新役員を選出しました。

委員長・伊藤栄江、副委員長・熊田裕美 書記長・海崎治代、執行委員・金子ますみ・田辺勝彦、特別執行委員・寺川知子、会計監査・田中重一。

(CU渋谷 海崎治代記)

スローガンは「最低賃金1500円」 「100名の文京支部」 CU文京第8回定期大会



CU文京支部は7月29日に第8回大会を24人の参加で

文京男女平等センターで開きました。会場いっぱいになり、全員が何らかの発言をし、盛り上がりました。遠藤委員長は挨拶で、組合員が増えた点、最低賃金の運動が重点であるなどを強調しました。

2年続けて10人純増

山田書記長は報告の中で、2年続けて10人ほどの純増となり現在83人となっています。10人増えれば財政的にも強化され、運動も大きくできることが決算上でも明らかです。文京区労協の加盟登録数を毎年5人ずつ増やし地域運動に支えられつつも、貢献もしようとなりました。そこで、今年のメインスローガンは「最低賃金1500円」「100名の文京支部」などを強調しました。参加者からは、労働相談の解決を感謝する発言や、今こそ支援をお願いしますなどといった発言までは良かったのですが、今月退職します、の発言にはびっくりしました。コミュニティユニオンの難しさなのだなと思います。次の新役員(右上になります)を選出しました。

委員長・遠藤弘幸、副委員長・高田悦男・益子茂、書記長・山田三平、書記次長・湯本弘美、執行委員・大利英昭・小川富弘・登尾純一・岩永有礼・山岸恒子、会計監査椎名容子

(CU文京 山田三平記)

大きな争議解決を確信に ユニオンちよだ第11回定期大会

ユニオンちよだは7月29日、神田公園区民館で定期大会を開催しました。来賓としてCU東京から高木書記長、千代田区労協から小林副議長が参加しました。東京都労働相談センターから取材を兼ね山崎

氏が出席しました。

2007年7月に結成されたユニオンちよだは、



今年で満10年、この1年、労働者の駆け込み寺として活動、大きな争議を解決するなど貴重な成果を挙げてきました。経過報告では13件の争議があり、8件解決、3件終結、2件争議中です。昨年よりちよだでは、宣伝カーを使い、抗議行動も可能に、争議解決へと大きく寄与しています。

要求実現できる体制の強化を

方針では100名の組合員・協力組合員を目指し、組合員の要求が実現できる体制の強化など提案、採択。弁護士による勉強会、HP・メルマガ・フェイスブックなど活用した情報発信や交流、駅周辺での宣伝、レクリエーションの企画など。千代田区春闘共闘委員会の一員として地域の運動に参加。

終了後、恒例の事務所交流会、来賓の高木書記長と小林副議長も引き続き参加、楽しい時間を過ごしました。東京の中心である千代田区の労働組合として、「駆け込み寺」の役割を果たします。新役員は、新たに3人を加え、10名を選出しました。

委員長・渡辺典章、副委員長・香取義和、書記長・鈴木明彦、執行委員・小番孝也・茂呂文彦・池田聡・鈴木真理・中村涼弥、会計監査・杉山文一・眞鍋泰治。

(ユニオンちよだ 鈴木明彦記)

英知国際特許事務所前抗議行動 7月12日昼

CU文京支部

60歳定年で、雇用延長を認められなかった組合員・矢内富夫さんの争議行動。毎月1回の社前ビラ配布。年2



回の昼休み社前抗議行動、3回目の大行動として、この日は、30人を超える参加でアピールしました。

「街頭相談」4回、電話などの 労働相談が60件

CUみなと第8回大会

隔月に執行委員会と「全体会」を開催

CU港支部は7月15日、第8回定期大会を14人の参加で「東京土建みなと会館」で開催しました。池田委員長から「都議選の結果」「原水禁大会の参加」などのあいさつがあり、高橋書記長から「街頭相談」が4回、電話などの労働相談が60件あり、7件が解決したこと、拡大目標では、「50人のCUみなと」実現に向け努力し、到達は40人となり「早期に50人の組合」を掲げ、隔月に執行委員会と「全体会」を開催し、時々の方針を確認し協力組合員の拡大や宣伝などを強化していくことなどの方針の提起がありました。

大会にはCU東京の平山副委員長からCU東京第9回定期大会の報告を兼ねたあいさつ、また、都議候補となった染谷さん（組合員）から都議選の報告。大会終了後、参加者で楽しく懇親を深めました。次の新役員を選出しました。

委員長池田孝治、副委員長川崎悟、青木一夫、植松富美枝、書記長高橋孝、執行委員小川均、山口利広、染谷ふみ子、唐亀竜太 顧問鈴木功

(CU港 高橋 孝記)

も許されるのか」、「CU東京ってどんな組合ですか」等の相談。「頑張って」の激励も寄せられ、「もっと目立つ横断幕も掲げたいね」と若者たちが張り切っています。

宣伝行動の後に事務局会議・2カ月毎に執行委員会を開催していますが、8月3日には八坂弁護士にお願いし「労働相談のポイント学習会」を実施。また、組織拡大を取り組みつつ、11月には交流イベントを開催しようと計画しています。

支部は労働相談でも「駆け込み寺」機能を高め、30人組織をめざして、大量の新聞折り込みも近く行う予定です。(CU中野 菊池恒美記)

CU東京の到達伝え、東京土建と懇談

7月26日、高木書記長と宮本書記次長が東京土建本部を訪ね、日頃の支援・協力にお礼をのべ、組織が1100人を超え、「駆け込み寺」の役割など報告しました。

土建から小番書記次長、中村常任、伊藤書記が応対、土建の組合員の家族の中にも、様々な働き方をしている



人がいることが話題に。7月31日に開かれた主婦の会活動者会議で、CU東京の案内の場が設定され、高木書記長がCU東京を説明しました。

支部結成から、毎月の駅宣

CU中野支部



「頑張って」の激励

4月に支部結成した中野支部は「CUの存在をアピールする」事を眼目に、6月から毎月、中野駅前において7、8人の参加でCUリーフに独自チラシをはさみ呼びかけています。パネルも作りアピールしました。「息子が長時間働きづめで心配。夜勤開けなのに会議に呼び出されることもあった」、「友達が無理やり辞表を書かされた。こんなこと

東京労働共済会が第21回総会開催

組織共済は150人加入増、個人共済は微減

CU東京も加入している東京労働共済会が8月第21回総会を開催。1年間の活動、次期方針を提案。CU東京の組織の前進が大きく貢献し組織共済は前進、一方個人共済は微減でした。各組合で共済制度を学習、推進していくことを確認。次期役員に常任理事に高木書記長、会計監査に宮本書記次長を選出されました。

ひきつづき自転車保険、ディズニーリゾート、全労連共済の活用をすすめます。

■支部大会が開催され、1年間の活動が熱く語られています。労働相談の本人が、今度は組合員として、「組合との出会い」、「こういう組合必要」と発言しています。■最賃の目安が報告されました。平均で25円。このままでは1000円もかなり先送り。CUがこの分野でも出番です。